

取扱説明書	Modbus / TCP (Ethernet) 用	形式
	TR30 専用通信カード	TR3EX

ご使用いただく前に

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

・通信カード1台

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうか、スペック表示で形式と仕様を確認して下さい。

■取扱説明書の記載内容について

本取扱説明書は本器の取扱い方法、外部結線および簡単な保守方法について記載したものです。

ご注意事項

●EU 指令適合品としてご使用の場合

- ・本器は盤内蔵形として定義されるため、必ず導電性の制御盤内に設置して下さい。
- ・お客様の装置に実際に組込んだ際に、規格を満足させるために必要な対策は、ご使用になる制御盤の構成、接続される他の機器との関係、配線等により変化することがあります。従って、お客様にて装置全体で CE マーキングへの適合を確認していただく必要があります。

●供給電源

- ・許容電圧範囲、電源周波数、消費電力
スペック表示で定格電圧をご確認下さい。
直流電源: 定格電圧 24 V DC ± 10 % 約 12 W

●取扱いについて

- ・本体の取外または取付を行う場合は、危険防止のため必ず、電源を遮断して下さい。

●設置について

- ・屋内でご使用下さい。
- ・塵埃、金属粉などの多いところでは、防塵設計のきょう体に収納し、放熱対策を施して下さい。
- ・振動、衝撃は故障の原因となることがあるため極力避けて下さい。
- ・周囲温度が -10 ~ +55℃ を超えるような場所、周囲湿度が 30 ~ 90 % RH を超えるような場所や結露するような場所でのご使用は、寿命・動作に影響しますので避けて下さい。

●配線について

- ・配線は、ノイズ発生源(リレー駆動線、高周波ラインなど)の近くに設置しないで下さい。
- ・ノイズが重畳している配線と共に結束したり、同一ダクト内に収納することは避けて下さい。

●その他

- ・本器は電源投入と同時に動作しますが、すべての性能を満足するには 10 分の通電が必要です。

取付方法

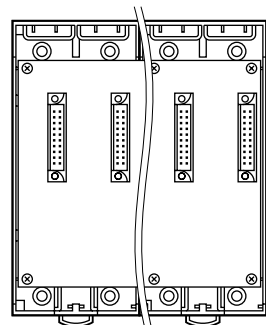
ベース(形式:R3 - BS)、アドレス可変形ベース(形式:R3 - BSW)をお使い下さい。ただし、通信カード(形式:TR3EX)をベースに取付ける前に、下記の項目を行って下さい。

■伝送データの割付(スロット割付)

側面のスロット割付設定用ディップスイッチ(SW1、SW2)にて、スロットごとに入出力カードのデータエリア(データ数)を設定します。これにより、伝送データが割付けられます。

■ベースへの取付

I/O1 / O2 I/O n



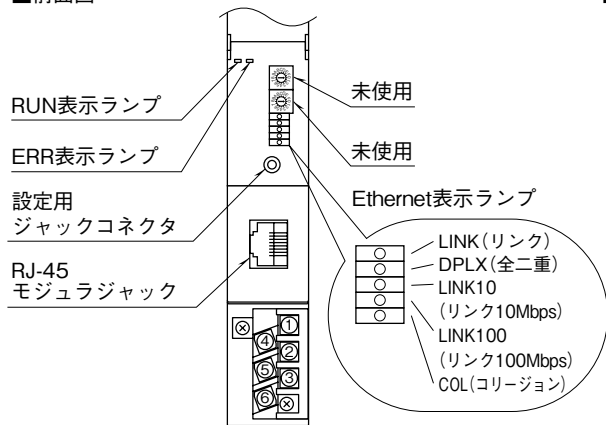
R3 - BS 使用時は、入出力カードは、I/O 1 から順に実装して下さい。(通信カードに対し、I/O 1 から割付けられます。)

通信カードは、全てのスロットに実装可能ですが、基本的には入出力カードの右側、またはベースの右側に実装して下さい。

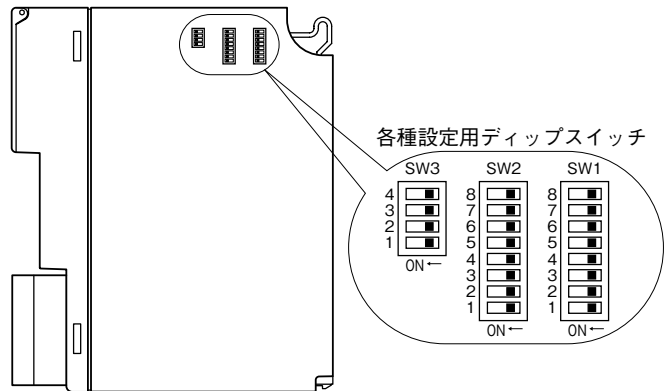
R3 - BSW には、ロータリスイッチによりスロット番号が任意に設定することができます。これにより、実装するスロットを自由に変更することができます。

各部の名称

■前面図



■側面図



■ Ethernet 表示ランプ

ランプ名	表示色	動作
LINK	赤色	LINK 時点灯
DPLX	赤色	全二重通信時点灯
LINK10	赤色	10 Mbps 接続時点灯
LINK100	赤色	100 Mbps 接続時点灯
COL	赤色	コリジョン時点滅

■ディップスイッチの設定

(*)は工場出荷時の設定

●スロット割付の設定 (SW1、2)

R3 シリーズの入出力カードには、入出力点数により、占有エリア(データ量)の異なる4種のタイプがあります。このため、各スロットにどのタイプの入出力カードを実装するかをSW1 および SW2 にて設定します。

SW1 および SW2 により、スロット1からスロット8を任意に設定することができます。スロット9以降はスロット8と同じタイプのカードとなります(各スロットの設定は、2ビットにて設定します)。

各入出力カードの占有エリアについては、シリーズ仕様書を参照して下さい。

SW		占有エリア(データ数)
SW1-1	SW1-2	スロット1
SW1-3	SW1-4	スロット2
SW1-5	SW1-6	スロット3
SW1-7	SW1-8	スロット4
SW2-1	SW2-2	スロット5
SW2-3	SW2-4	スロット6
SW2-5	SW2-6	スロット7
SW2-7	SW2-8	スロット8
OFF	OFF	1
ON	OFF	4
OFF	ON	8
ON	ON	16

●機能設定 (SW3)

通信カードの機能を設定します。

・メイン/サブ切替設定 (SW3-1)

“OFF: メイン”に設定

SW	メイン/サブ切替	
	メイン	サブ
SW3-1	OFF(*)	ON

・入力データ設定 (SW3-2)

入力カードに異常が発生し、通信カードとの通信ができない場合に入力値を設定します。“OFF”の場合は最終値で保持し、入力カードとの通信ができるまで更新されません。“ON”の場合は、入力カードとの通信が連続して異常(不可)の場合、入力値を“0”にします。

SW	入力データ	
	ホールド	“0”セット
SW3-2	OFF(*)	ON

・ランプ表示切替設定 (SW3-4)

前面の RUN、ERR のランプの表示内容を切替えます。

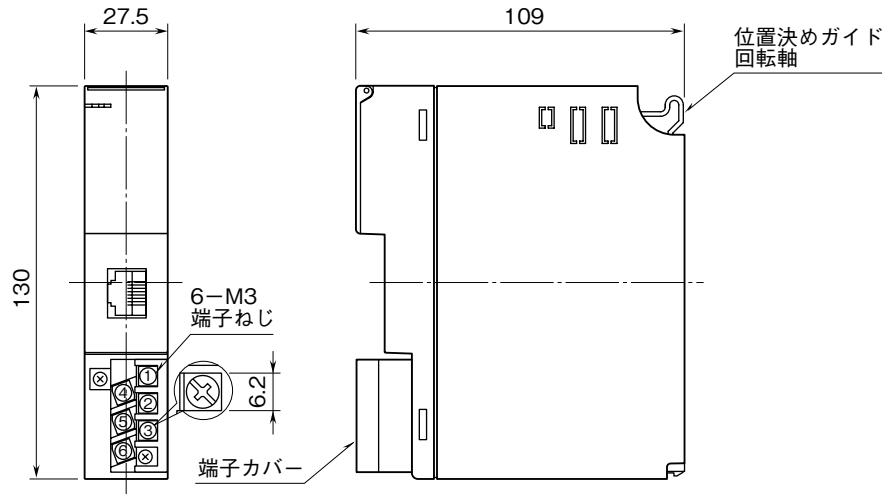
SW3-4	ランプ表示切替	
	RUN	ERR
OFF(*)	正常時緑色点灯	異常時緑色点灯/点滅
ON	データ受信時赤色点灯	データ送信時赤色点灯

注)SW3-3は未使用のため、必ず“OFF”にして下さい。

接 続

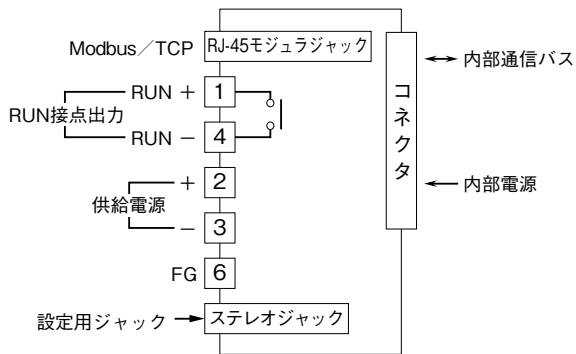
各端子の接続は下図を参考にして行って下さい。

外形寸法図 (単位: mm)



端子接続図

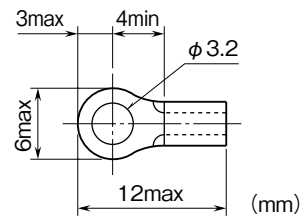
EMC (電磁両立性) 性能維持のため、FG 端子を接地して下さい。
 注) FG 端子は保護接地端子 (Protective Conductor Terminal) ではありません。



配 線

■端子ねじ
 締付トルク: 0.5 N・m

■圧着端子
 圧着端子は、下図の寸法範囲のものを使用して下さい。
 また、Y形端子を使用される場合も適用寸法は下図に準じます。
 推奨圧着端子: R 1.25 - 3 (日本圧着端子、ニチフ)
 (スリーブ付圧着端子は使用不可)
 ・適合電線: 0.75 ~ 1.25 mm²



設 定

① IP アドレスの設定

TR3EX は BootP テーブルソフトウェアをサポートしていません。

IP アドレスはコンフィギュレータソフトウェア（形式：R3CON）を用いて設定します。

Modbus / TCP のポート番号は“502”と決められています。

② スロット割付の設定

側面のスロット割付設定用ディップスイッチ（SW1、SW2）を設定して下さい。

これにより、実装する入出力カードの占有エリア（データ量）が割付けられます。

③ 配線

パソコンなどと配線をします。

④ 表示の確認

前面の Ethernet 表示ランプ LINK と LINK10 または LINK100 が点灯します。

配線が正常な場合にはリンク状態となり上記のランプが点灯します。

データ送受信には LINK10 または LINK100 が点灯します。

⑤ TR3EX の接続確認

Windows の MS-DOS プロンプトから ping コマンドにて接続を確認します。

```
C : ¥WINDOWS > ping *.*.*.*.*.*.*.*.*.*  
(*.*.*.*.*.*.*.*.*.* は IP アドレスを 10 進数で入力します。)
```

```
ping *.*.*.*.*.*.*.*.*.* with 32 bytes of data :  
Reply from *.*.*.*.*.*.*.*.*.* : bytes = 32 time < 10ms TTL = 64  
Reply from *.*.*.*.*.*.*.*.*.* : bytes = 32 time < 10ms TTL = 64  
Reply from *.*.*.*.*.*.*.*.*.* : bytes = 32 time < 10ms TTL = 64  
Reply from *.*.*.*.*.*.*.*.*.* : bytes = 32 time < 10ms TTL = 64
```

```
Ping statistics for *.*.*.*.*.*.*.*.*.*  
Packets : Sent = 4, Received = 4, Lost = 0 (0% loss)
```

正常に接続する場合は、ping コマンドに対し上記のような返答があります。IP アドレスが異なる場合など正常に接続できない場合にはタイムオーバなどの返答となります。

⑥ アプリケーションとの接続

確認 1：リンク

データの送受信に関わらず、正常に接続することにより前面の LINK、LINK10 または LINK100 が点灯します。これらが点灯していない場合には、ハブの電源などを確認して下さい。

確認 2：RUN 表示ランプ

側面のランプ表示切替（SW3-4）が OFF の状態の場合、正常に送受信を行うと RUN 表示ランプが緑色に点灯します。

確認 3：送受信表示

側面のランプ表示切替（SW3-4）を ON にすると RUN 表示ランプが受信表示（赤色）、ERR 表示ランプが送信表示（赤色）となります。

正常時には送受信が高速なため同時に点滅を繰り返します。

Modbus I/O 割付

	ADDRESS	DATA TYPE	DATA
Coil (0X)	1 ~ 1024		Digital output (接点出力)
Input (1X)	1 ~ 1024		Digital input (接点入力)
	1025 ~ 1040		カード情報
	1041 ~ 1056		異常情報
	1057 ~ 1072		データ異常情報
Input Register (3X)	1 ~ 256	I	Analog Input (アナログ入力)
	257 ~ 768	F	Analog Input (アナログ入力)
Holding Register (4X)	1 ~ 256	I	Analog output (アナログ出力)
	257 ~ 768	F	Analog output (アナログ出力)

■ DATA TYPE

I : Int 0 ~ 10000 (0 ~ 100%)

F : Floating (32ビットデータは、Floatingアドレスでアクセスすることはできません)

注) 上記以外のアドレスにはアクセスしないで下さい。誤動作等の原因になります。

①カード情報

各カードの装着(有無)状態を示します。

カードが装着されている場合、対応するビットが“1”、未装着(未実装)の場合、“0”となります。

②異常情報

各カードの異常を示します。

- ・ R3 - TS □、R3 - RS □、R3 - US4 (熱電対、測温抵抗体入力時) の入力が入バーンアウト
- ・ R3 - DA16A の入力電源が異常、または未接続
- ・ R3 - YS □ の出力電流が異常 (負荷未接続など)

上記の状態が発生した場合、対応するビットが“1”となります。

③データ異常情報

各入力カードの入力値が -15% 以下または 115% 以上の場合、対応するビットが“1”となります。

R3 - US4 (電圧入力時) は、入力値が -10% 以下または 110% 以上の場合、対応するビットが“1”となります。

伝送データ

本体側面のディップスイッチにより、各入出力カードの伝送データ数(占有エリア)を設定することができます。

例えば、下記のように設定した場合

スロット 1	4
スロット 2	4
スロット 3	4
スロット 4	1
スロット 5	1
スロット 6	1
スロット 7	1

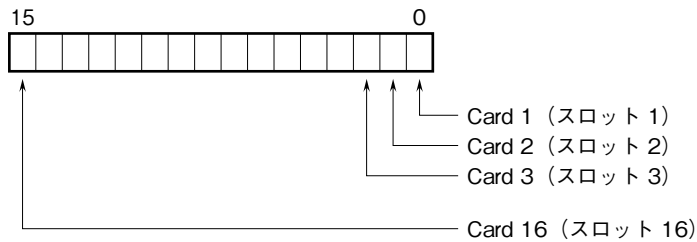
入出力データは次のように割付けられます。

	ADDRESS	カード位置
Input Register (3X)	1 ~ 4、257 ~ 264	スロット 1
Holding Register (4X)	5 ~ 8、265 ~ 272	スロット 2
	9 ~ 12、273 ~ 280	スロット 3
	13、281 ~ 282	スロット 4
	14、283 ~ 284	スロット 5
	15、285 ~ 286	スロット 6
	16、287 ~ 288	スロット 7

	ADDRESS	カード位置
Coil (0X)	1 ~ 64	スロット 1
Input (1X)	65 ~ 128	スロット 2
	129 ~ 192	スロット 3
	193 ~ 208	スロット 4
	209 ~ 224	スロット 5
	225 ~ 240	スロット 6
	241 ~ 256	スロット 7

(注) Coil (0X)、Input (1X) の割付は、伝送データ数(占有エリア)が“1”または“4”の場合には、伝送データ数を16倍したアドレスを割付けます。伝送データ数が“8”または“16”の場合には、強制的に64(4×16)のアドレスを割付けます。

カード情報、異常情報、データ異常情報



各スロットの入出力カードの有無および異常を示します。

入出力データ

以下に代表的な入出力カードのデータ配置を示します。

入出力カードの詳細なデータ割付けは、それぞれの取扱説明書を参照して下さい。

■アナログデータ(形式: R3 - SV4、YV4、DS4、YS4、US4 など)



16 ビットのバイナリデータ

基本的に、各カードで設定されている入出力レンジの 0 ~ 100 % を 0 ~ 10000 のバイナリ (2 進数) で示します。

-15 ~ 0 % の負の値は 2 の補数で示します。

R3 - US4 の場合は、-10 ~ 0 % の負の値を 2 の補数で示します。

■アナログデータ(形式: R3 - RS4、TS4、US4 など)

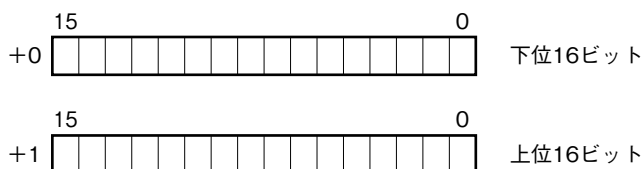


16 ビットのバイナリデータ

基本的に、温度単位が摂氏 (°C) の場合には 10 倍した整数部を示します。例えば、25.5°C の場合は“255”がデータとなります。また、温度単位が華氏 (°F) の場合には整数部がそのままデータとなります。例えば、135.4°F の場合は“135”がデータとなります。

負の値は 2 の補数で示します。

■アナログデータ (32 ビットデータ長、形式: R3 - PA2、R3 - PA4A、R3 - WT1、R3 - WT4 など)

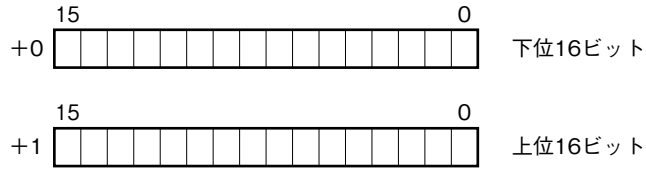


積算値、位置変換データは、32 ビット長のバイナリデータです。

低アドレスから順に下位 16 ビット、上位 16 ビットが配置されます。

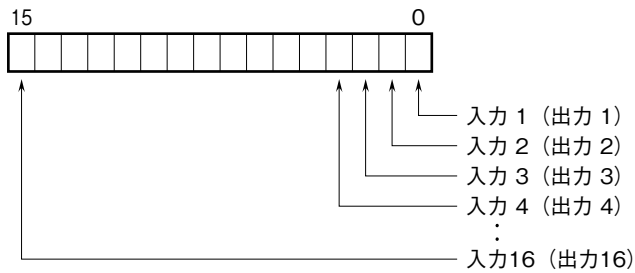
32 ビットデータは、Floating アドレスでアクセスすることはできません。

■アナログデータ(32ビットデータ長、形式: R3 - BA32A、R3 - BC32A など)



BCD コードデータは、32 ビット長のバイナリデータです。
 低アドレスから順に下位 16 ビット、上位 16 ビットが配置されます。
 32 ビットデータは、Floating アドレスでアクセスすることはできません。

■16 点用接点データ(形式: R3 - DA16、DC16 など)



0: OFF
 1: ON

保証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、
 万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出
 荷後 3 年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返
 送いただければ交換品を発送します。